

審査の対象となったその他の防災アプリの概要

資料 2

アプリ名	3 HAZARD MAPめ組	14 防災サブリ	15 未来共生災害救援マップ(災救マップ)
応募部門	リスクコミュニケーション	リスクコミュニケーション	避難誘導支援
応募者名	青森商工会議所	株式会社 ニュープランニング	大阪大学大学院人間科学研究科・福場研究室 および(株)ナブラ・ゼロ
サービス概要	避難情報（アラート連携等）をプッシュ通知し、GPSによる表示（危険区域にいる事や避難所）での確な避難行動が取れる。平常時は防災マップ（ハザードや避難所）の電子版として活用できる。	不足しがちな防災情報の補充をおこなうアプリ。防災情報のメモや、国土地理院提供のタイルデータ等を表示。また、アプリ間で安否メールの送受信が可能	全国の避難所および宗教施設とあわせて約30万件のデータを収容したマップシステムと連携し、利用者が投稿する施設の情報を利用者間で共有。情報の管理者は時間とともに変化する避難施設の状況が把握できる。
イメージ			
デバイス・OS	スマートフォン、Android4.0以上	スマートフォン、Android4.4	スマートフォン、Android4.0.4 以上
使用空間情報	指定緊急避難所、指定避難所、鎌倉市施設データ、標準地図	指定緊急避難所、指定避難所、鎌倉市施設データ、土砂災害警戒区域、南関東地震による液状化危険度、南関東地震による予想される震度、洪水浸水想定区域、標準地図、淡色地図、標高タイル、公共施設（国土地理院データ）	鎌倉市施設データ、土砂災害警戒区域、洪水浸水想定区域、標準地図、予想される津波の最大高さと、そのときの地震発生からの予想時間、土地条件図、標準地図

アプリ名	16 RSTracker	17 浸水没入体験！	18 どしゃぶ〜土砂災害から逃げる！
応募部門	避難誘導支援	リスクコミュニケーション	避難誘導支援
応募者名	酪農学園大学	愛知工科大学飯宮研究室	パシフィックコンサルタンツ株式会社
サービス概要	自主防災組織、自治体職員等の互いの行動（現在地）をリアルタイムに把握し、避難所開設状況や逃げ遅れ、災害発生、安否確認の状況を共有することで人的被害の軽減を図ることができる。	スマートフォンを取り付けた紙製簡易ゴーグルを頭に装着すると、浸水状況を没入疑似体験できる。現在地の想定浸水深情報を利用して、スマホのカメラで撮影した実風景映像上に3D-CGのリアルな水面を表示。	リアルタイム雨量情報XRAINを利用して、従来よりも高精度の土砂災害危険度判定を実施。その場・その時に情報が必要としているユーザーに通知するとともに最適な避難場所へ誘導するアプリ。
イメージ			
デバイス・OS	スマートフォン、Android 4.0 以上（7インチ以上の画面サイズの端末）	スマートフォン、Android4.4 以上	スマートフォン、Android 4.0 以上
使用空間情報	標準地図	南関東地震による津波浸水域	洪水浸水想定区域、淡色地図、電子国土基本図（オルソ）

アプリ名	21 HY0-GO (hazardとYukueのOshiraseへGo)	22 お散歩ビューアアプリ	23 避難支援ヒートマップ
応募部門	避難誘導支援・リスクコミュニケーション	避難誘導支援	避難誘導支援
応募者名	兵庫県立大学応用情報科学研究科	外国法人 Ohisama Ito (オヒサマ エルエルシー)	大阪府立大学太田研究室
サービス概要	ハザードマップにより現在地の各種ハザードからの安危を判定して多言語対応のテキストとマークで知らせ、周辺のハザードマップと避難所を表示し、事前に登録されたアドレスへ2回のタップで安否情報を連絡できる。	災害時、徒歩で目的地に到達しなければならない状況を想定、事前に周辺状況の把握ができる。	利用者の現在地を中心とした地図上に近隣の避難所を表示するとともに、アプリの利用者全員の位置をヒートマップ表示し、避難の一助とするもの。
イメージ			
デバイス・OS	スマートフォン、安否情報送信アプリはAndroid4.1 以上、現在地安全確認アプリはAndroid4.4 以上	スマートフォン、Android4.2.2	スマートフォン、Android 4.0 以上
使用空間情報	指定緊急避難所、指定避難所、南関東地震による予想津波浸水域	標準地図	指定緊急避難所、指定避難所、淡色地図